

平成27年10月18日  
今週のベストショット



青松園A 三友クラブ 対 奈多フェニックス戦

防御率1位の奈多フェニックス今林勇太投手と最多安打の三友クラブ柿崎辰徳選手の対決。

写真：雁ノ巣ライナーズ 明瀬 旭

雁レク軟式9 三苦フレンズ打線が繋がりが快勝！ そして最終回到ドラマが！

三苦フレンズ (4勝8敗) 30540 12 生野○ー西山

ソルトベイスターズ (1勝12敗) 02012 5 鶴野●ー香田

HR：真弓(ソルト) 2BH：佐藤、松尾(三苦フ) 酒井(ソルト) 盗塁：生野(拓)(三苦フ)

三苦フレンズは一回表、一番生野(拓)選手が安打で出塁し、その後は四球や六番御手洗、七番肥喜里選手の適時打等で3点を先制した。二回裏反撃したいソルトベイスターズは、この回先頭の四番中村(耕)選手が四球、続く五番鶴野選手が左前安打でチャンスを広げ、七番荒尾選手が放った中越え本塁打の当たりをフレンズ福山中堅手が好守備で防いだ。フレンズに試合の流れが傾いたかに思われたが、続くソルト八番矢野、九番中村(健)選手が連続中前適時打で2点を返して粘りを見せる。三回表フレンズは三番福山、四番佐藤、五番寺山、六番御手洗選手が4者連続右前安打と打線が繋がると、七番肥喜里選手も敵失など得点を重ね一挙5点のビッグイニングとなった。勢いに乗るフレンズは四回表にも4安打とソルト守備陣の乱れにより、ダメ押しの4点を追加し試合を決めた。最終回ソルトベイスターズは流れを変えるため代打攻勢に出ると、田中(裕)選手が出塁し、そこで「代打…俺」と真弓監督が打席に立つ。すると、何と2ランを放って、今シーズン最後の攻撃で意地を見せた。12-5と三苦フレンズが大勝したがその要因は、フレンズ攻撃陣が13安打中8安打を無理に引っ張らずに逆方向へ意識したバッティングだろう。(記事、写真：三苦ホーネッツ 永島 貴文)



一回表、盗塁を決める三苦フレンズ生野（拓）選手。



二回裏、左前安打のソルトベスターズ鶴野選手。



二回表、中前適時打のソルトベスターズ矢野選手。



三回表、好守のあと右前安打の三苦フレンズ福山選手。



三回表、鋭い当たりを放つ三苦フレンズ肥喜里選手。



安定したピッチングの三苦フレンズ生野拓磨投手。



好守を見せた三苦フレンズ守備陣。



豪快なスイングを見せたソルトベスターズ三番香田選手。



四回表、代打で右二塁打の三苦フレンズ松尾選手。



五回表、右二塁打の三苦フレンズ四番佐藤選手。



最終回「代打俺！」で意地の2ランを放ったソルトベイスターズ真弓監督。

### 青松園B 奈多クラブ二桁安打でコールド快勝！

ブルーマーリンズ (0勝13敗) 0 1 0 0 1 2 横山 (祥) ●、友重—横山 (健)  
 奈多クラブ (5勝4敗3分) 3 0 3 7 X 13 今林 (瑠) ○、今林 (常) —馬場口

HR : 今林 (賢) (奈多ク) 横山 (祥)、友重 (ブルー) 3BH : 今林 (瑠) (奈多ク)

2BH : 今林 (健)、吉田 (奈多ク) 盗塁 : 今林 (健) (奈多ク)

初回ブルーマーリンズの攻撃は、二死から三番横山 (健) 選手が四球で出塁するも四番糸井選手は三振に倒れ先制ならず。奈多クラブは一死から二番久保選手、三番今林 (祐) 選手が連続四球で出塁し、四番馬場口選手が左翼へ先制適時打を放つ。続く五番今林 (瑠) 選手は中堅手へ犠飛で更に追加点と、相手の失策で計3点を先制した。追い付きたいブルーは二回表、先頭の五番横山 (祥) 選手が右中間へ本塁打を放ち1点を返す。更に七番井手選手が右前への安打で出塁したが、九番山野選手が三振に倒れてしまい追加点はならず。三回裏奈多クラブは、先頭の一今林 (賢) 選手が左翼へ本塁打を放つ。更に3安打と相手の失策で2点を追加しブルーを突き放す。続く四回裏は先頭の九番吉田選手が二塁打、その後3連続四球で押し出しとなり1点追加する。ここでブルーは投手を友重選手にスイッチするも、今林 (瑠)、今林 (健) 選手らの連続長打などでこの回一気に7点を奪いだめ押しした。なんとか意地を見せたいブルーは五回表先頭の九番山野選手が四球を選ぶ。ここで奈多クラブの今林 (瑠) 投手が生理現象の為緊急降板でトイレに直行し投手交代となり今林 (常) 選手が登坂する。ここで

ブルーは代打安部選手が併殺打に倒れてしまい二死となり追い詰められる。しかし二番友重選手が左線へ本塁打を放ち1点を返すが、最後は監督の小柳選手の代打俺登場も二塁ゴロに倒れてコールドで試合終了。勝った奈多クラブは今林（瑠）投手の好投と安定した守備にチャンス逃さない攻撃は見事だったが、内野ゴロを打った瞬間に諦めて一塁へ走る事すらせずベンチに帰る選手も見られるなど、タレント揃いで本当に力はあるチームなのにそんな姿を見せられると失望する。対するブルーは6時の段階でメンバーが全員集合し、しっかり身体を動かして試合に挑んでいた。この試合が今年最終戦となり全敗という結果だったが、何とかして勝ちたいという姿勢は見えたと今年惜しい試合もいくつかあったので来年以降の奮闘に期待したい。

(記事 : 新町ウインズ 野中 一史、写真 : 大久保 浩)



4安打2失点、好投の奈多クラブ今林瑠生投手。



会心の右前打に笑顔を見せるBマーリンズ井手選手。



走者、守備、塁審、きわどいプレーに緊張の一瞬。



緊急登板にも巧みな投球をみせたBマーリンズ友重投手。



代打で出場し右前適時打を放つ奈多クラブ赤沢選手。



流れを変えようと円陣で気合を入れなおすBマーリンズベンチ。



こちらも緊急登板！奈多クラブ今林常光投手。



今林常光選手との対決を静かに待つBマーリンズ阿部選手。

### 青松園A 奈多フェニックス今林勇太投手の勝利を呼び込む粘り強いピッチング！

三友クラブ (7勝6敗) 10000 1 足達●-清原、西田

奈多フェニックス (10勝1敗2分) 1002× 3 今林(勇)○-実延(新)

HR: 西藤(奈多フ) 2BH: 松尾(三友ク)、今林(英)(奈多フ) 盗塁: 山村(奈多フ)

三友クラブは初回、二死一塁から四番松尾選手の左前適時二塁打で1点を先制する。しかしその裏、フェニックスは一番西藤選手の先頭打者本塁打ですぐさま同点に追い付く。両投手初回到1点を失ったものの二回、三回と好投し失点を許さない。四回表三友クラブは、六番西田選手、七番福井選手が連打を放ちチャンスを広げると、九番山本選手がファールで粘った末に四球を選び、二死ながら満塁と最大のチャンス。ここで三友クラブ広瀬監督は代打坂本選手を送るも、フェニックス先発の今林(勇)投手の粘り強いピッチングの前に三振に倒れてしまう。そして四回裏フェニックスは先頭の六番実延(新)選手が左前安打で出塁すると、続く七番今林(英)選手の左中間を破る二塁打で二、三塁としチャンスを広げる。しかし三友クラブ先発の足達投手も力投し、走者は変わらず二死までフェニックス打線を追い込む。しかし第一打席で本塁打を放っている一番西藤選手に打順がまわり、打ち取った、かに思えた打球だったが内野安打に。さらに内野手の悪送球の間に二塁走者も生還し、2点を勝ち越されてしまう。三友クラブは五回にも満塁のチャンスを作るが、粘り強いピッチングの今林(勇)投手の前にあと1本が出なかった。(記事、写真: 雁ノ巣ライナース 明瀬 旭)



奈多フェニックス先発の今林勇太投手。



一回表、先制のホームを踏む三友クラブ中内選手。



三友クラブ先発の足達投手。



一回裏、先頭打者本塁打を放ったフェニックス一番西藤選手。



三回表、今季19安打目を放つ三友クラブ二番柿崎選手。



四回表、二死満塁のピンチで三振を奪う今林勇太投手。



四回裏、先頭打者で左前安打のフェニックス実延新伍選手。



五回表、二死満塁で三友クラブ福井選手のバットは空を切る。

### 奈多グラウンド 塩浜ジャガーズが攻守に三苦三球会を圧倒！

塩浜ジャガーズ（5勝8敗）50433 15 内田○—橋村

三苦三球会（6勝7敗）13010x 5 原口●、藤澤—蓑原、山崎

HR：橋村（塩浜ジ） 2BH：荒木、佐藤（塩浜ジ） 大津、堺（和）（三球会）

先攻の塩浜ジャガーズは、三球会先発の原口投手の不安定な立ち上がりを攻めた。一回表に先頭の野中選手がじっくりボールを見極めて四球で出塁。続く二番田中、三番内田選手ともに持ち前の選球眼を活かして四球で出塁。チャンスを広げて四番岩崎選手が登場すると、見事死球で先制。続く五番黒木選手が左中間に適時二塁打を

放ち追加点。その後、佐藤、橋村選手に連続ヒットが飛び出しこの回一挙5点先制。一回裏、三球会も負けじと一番藤澤、二番堺達也選手が四球で出塁し、ジャガーズ先発内田投手の不安定な立ち上がりを見極めてチャンスを広げると、三番大津選手が反撃の適時打で1点を返す。二回裏三球会は、七番蓑原選手が四球、八番原口選手がヒットで繋ぎ、一死から一番藤澤選手のヒット、三番大津選手の二打席連続ヒットとなる二塁打などでこの回3点を奪い二回終了時点で5-4と乱打戦の様相を呈していた。試合の流れは、ジャガーズと三球会のどちらに傾くか誰も分からない緊迫した試合展開。しかし、ジャガーズの「いてまえ打線」が火を噴いた。一死から六番佐藤選手が二塁打で出塁するも橋村選手がショートゴロで二死となりチャンスが潰れたかに思われたが、八番道喜、九番稗田選手の連続安打で追加点を奪う。一番に返り野中選手がこの日二度目の四球を選び、二番田中選手のライト前などで4点を奪い試合の主導権を握る。三回裏三球会は、濱口選手にヒットは出るものの得点に繋げることが出来ずに無得点に終わる。四回表ジャガーズは、四番岩崎選手がレフト前、五番黒木選手が死球でチャンスを広げると、七番橋村選手がダメ押しの3ランHR。三球会はその裏の攻撃で1点を返すのがやっと。ジャガーズは五回にも四球やヒットを絡めて3点を奪い勝負あり。結果的に15-5の一方的な展開でジャガーズの勝利となった。

両投手ともに立ち上がりが不安定であった。そこで両チームともにしっかりとボールを見極めてチャンスメイクをしていた。序盤は両軍ともにクロスゲームの緊張感のある試合運びが出来ていた。この試合に限って言うと両軍ともにチャンスはあった。試合のカギは七番、八番、九番の差が出た。ジャガーズ打線は七番、八番、九番がチャンスの場面でホームランも含めて2安打ずつの計6本打っている。三球会の下位打線は1本のみである。この差がこの試合に限っては勝敗を左右した。

上位の4チームが優勝争いを繰り広げている中、今日の試合は優勝に関係がない試合ではあるが両軍ともに全員が集合時間に集まり若手からベテランまで準備をしっかりと行い試合に臨んでいた。当たり前のことだと言えばそれまでだが勝ち負けよりも大事なことをややまずれば忘れてしまいがちである。

スポーツは肉体と精神を鍛える場である。これは何歳になっても変わらないと思う。

そして、審判の担当の日でも若手から60代のベテランまで一緒になって責任を果たすことが素晴らしいことです。

試合だけに来るのでなく、審判でも同じ気持ちで臨んでいく姿を先輩方に教わりました。

**どんな時でも一生懸命に取り組むことの姿勢は人に感動を与えます。**

そんな素晴らしいことを学べる場が和白リーグだと思えます。

私も平成5年からパイレーツに入部して、はや22年お世話になっています。

楽しく緊張感のある和白リーグにしていくべく頑張っていきます。

最後に、来年は優勝旗が西鉄宮地岳線を渡るようにパイレーツ一丸となり熱くやっていくぞ~!

(記事、写真：新町パイレーツ 田村 正博)



緊張の立ち上がりの三球会原口投手。



初回マウンドのジャガーズ内田投手。



先制パンチの二塁打を放つジャガーズ五番黒木選手。



一回裏、反撃のヒットを放つ三球会大津選手。



この日2安打のジャガーズ六番佐藤選手。



二回裏、痛烈な右前適時打を放つ三球会一番藤澤選手。



本塁クロスプレー！見応えありました！



四回表、3ランを放ち笑顔のジャガーズ七番橋村選手。



2安打を放ち攻守ともに光ったジャガーズ九番稗田選手。



好守備が光るジャガーズ野中三塁手。





主審の判定に天を仰ぐ稗田選手。「オーマイガッ！」



試合後両軍監督が笑顔で握手。



相手チームの健闘を称える三球会山崎選手。



本日のMVPのジャガーズ橋村選手。



この日のもう一人のMVPである稗田選手。

## 第23週編集後記

WSLの皆さんこんにちは！

第23週、10月18日は4試合が行われました。

雁レク9の三苦フレンズ対ソルトベイスターズ戦は、幸先よく初回に先制したフレンズが1点差に追いつかれるもすぐさまビッグイニングを連ねて、13安打で12得点。ソルトベイスターズは安打は出るが一回、三回を三者凡退で抑えられるなど、最終回に真弓監督が代打HRを放つも12-5でフレンズの勝利。今シーズン最多

の与四死球のフレンズ生野投手が、わずか3四死球と好投。最終戦もナイスピッチングを期待したい。

青松園Bのブルーマーリンズ対奈多クラブ戦は、初回連続四球から3点を先制した奈多クラブは、その後も四球に乗じた長短打で13得点。ブルーマーリンズはベテランの横山祥朗、友重選手がソロHRを放つもその2点に抑えられ、2-13で奈多クラブが勝利。ブルーマーリンズは全敗で今シーズンを終えたが、直向き（ひたむき）にソフトボールに取り組む姿勢は評価される。しかし点の取り方、防ぎ方をチームできちんと意思統一できなければ、来シーズンも勝利の楽しみを味わえない。まだチーム力が上がらない開幕戦勝利に向けて是非取り組んでほしい。

青松園Aの三友クラブ対奈多フェニックスの両チーム今季最終戦は、初回に1点ずつ取りあうと、0行進の均衡を破ったのは、現在首位のフェニックス。四回裏に連打で無死二三塁を作ると二死となるも初回先頭打者HRを放っている西藤選手が内野安打にエラーが重なり待望の勝ち越し。追いつきたい三友クラブの追撃をかわしたフェニックスが1-3で勝利して勝ち点を32に伸ばした。

奈多グラウンドの塩浜ジャガーズ対三苦三球会の両チーム今季最終戦は、三球会先発の原口投手の不安定な立ち上がりを捉えたジャガーズ打線が5点を先制すると、二回に1点差まで追いつかれるも三~五回で10得点を取り、15-5でジャガーズの勝利。この試合3打数2安打したジャガーズ橋村選手は打率2位としてシーズン終了。

10月24日から福岡ヤフオクドームで福岡ソフトバンクホークス対東京ヤクルトスワローズの日本シリーズが開幕しました。

両リーグを制したチーム同士、新人監督同士、トリプル3達成選手同士、強力打線同士ととても見どころ満載なシリーズが福岡で行われることはいずれにしてもうれしいですね。お互いチームカラーを発揮していい試合を見せてほしいです。

さて、プロ野球選手、監督、コーチ、審判などが腕にはめている緑色の細いリストバンドをご存知でしょうか？実は気にはなっていたので調べてみると、地球温暖化防止のアピールとしてグリーンリストバンドをしているのです。

<http://www.npb.or.jp/gbp/2011wristband.html>

装着は任意です。

ルールで投手はリストバンド、手袋等は装着出来ないはずなので確かに投手はしていませんね。

ちなみに540円で購入できるようです。

このような象徴的なものとして有名なのは、乳がん撲滅のためのピンクリボンや子供虐待防止のオレンジリボンなどが有名です。

<http://matome.naver.jp/odai/2137344202282753201>

色には赤：情熱、青：冷静、黄：好奇心などいろいろ意味があります。

それを生業としたカラーコーディネーターや風水師などもいるぐらいです。

福岡ドームもソフトバンクカラーの黄色に染められていますね。

和白リーグのチームも選手もそれぞれに色を持っています。

その特色を活かして欲しいですね。